

あらゆる
歯科医療へのガイド。
CT画像は雄弁に語る。

finecube

アーム型X線CT診断装置
ファインキューブ

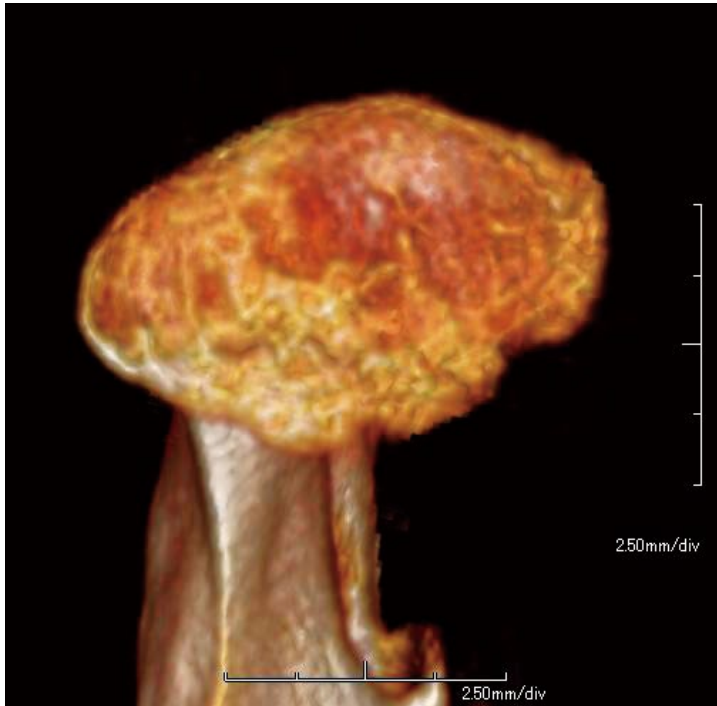


さまざまな歯科治療をCT画像が支援。
より正確な診査・診断が行え、緻密な治療をサポートします。

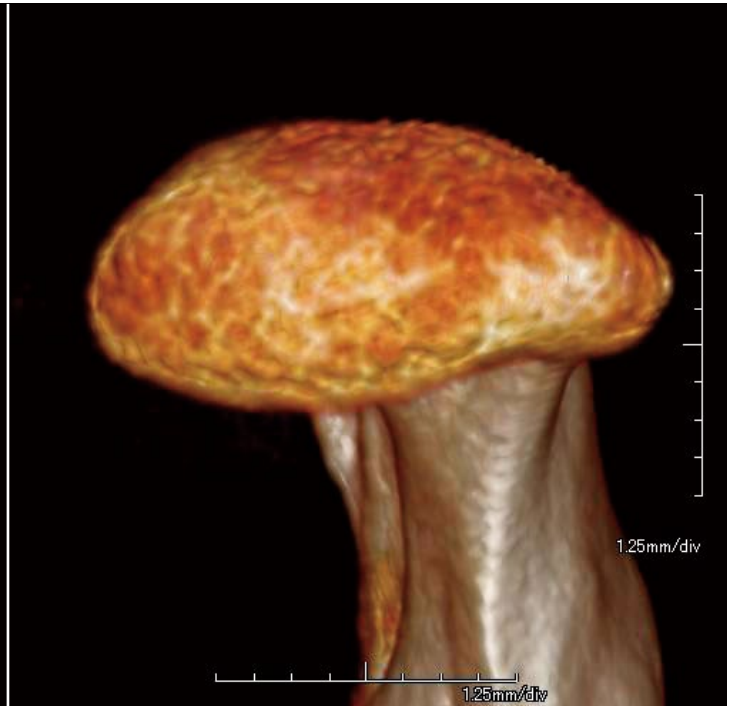
TMJ

顎関節の細部の形態が診断できます。

右下顎顆頭の上面は左下顎顆頭と比較すると正常の丸みが失われており、エロージョンの所見です。ファインキューブによる顎関節撮影にて3D画像観察。



右側下顎顆頭

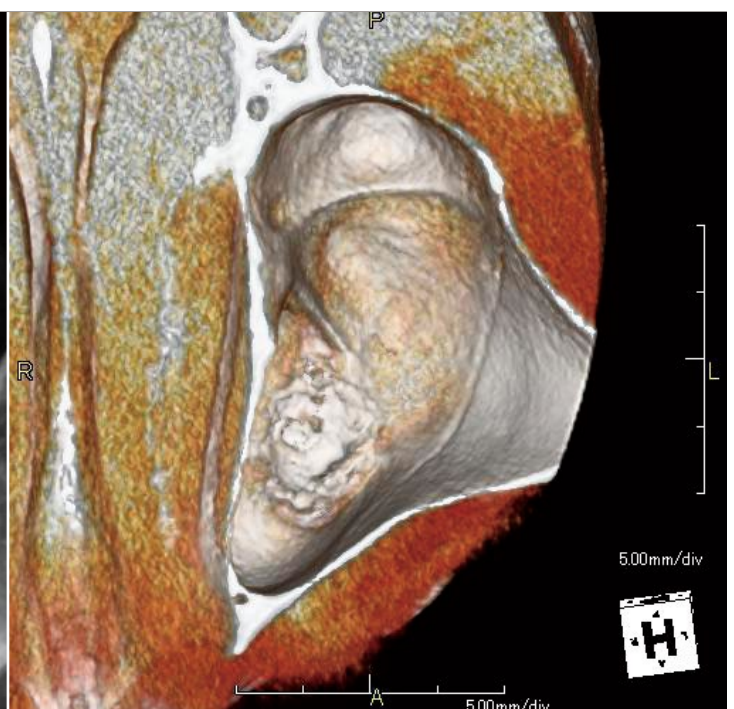


左側下顎顆頭

インプラント

下歯槽管までの距離・骨幅など術前診断だけでなく、経過観察も行えます。

ソケットリフトによる上顎インプラント埋入症例です。MIP画像と3D画像による上顎洞内の観察。



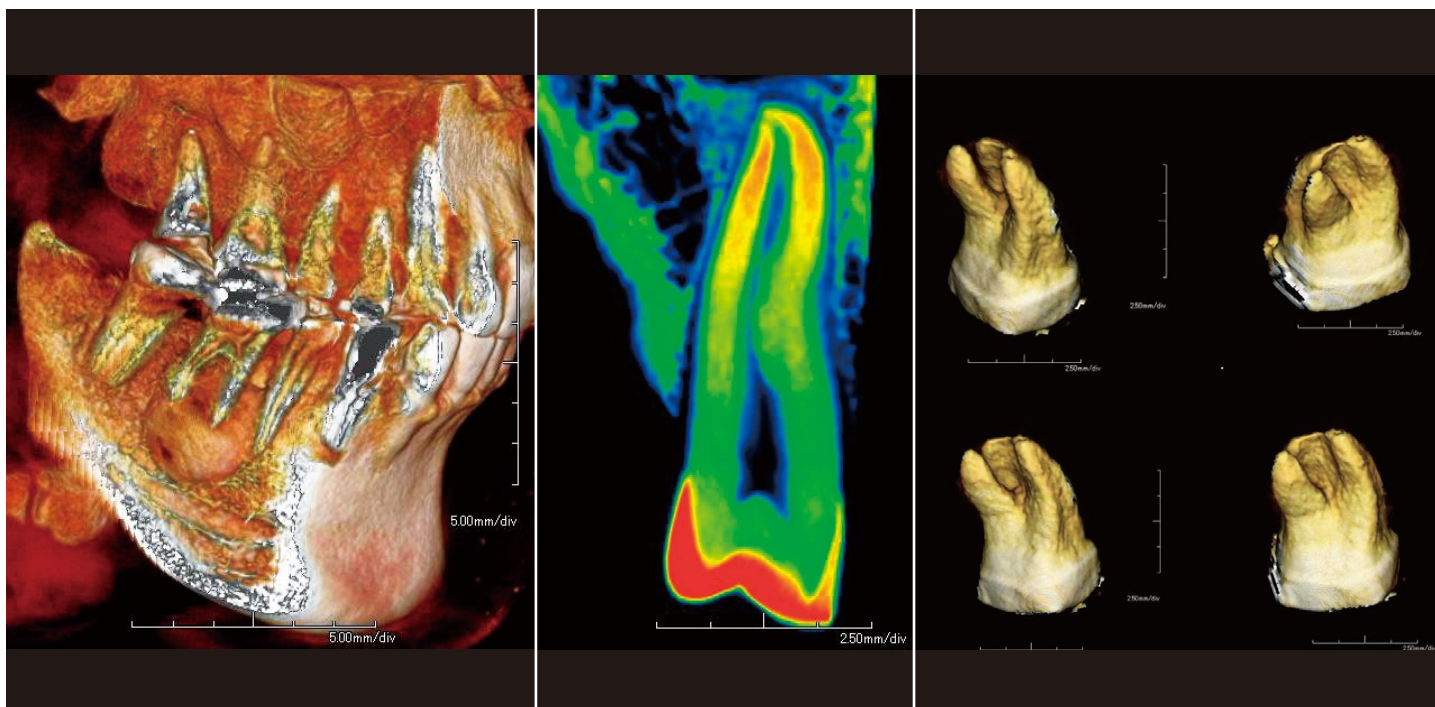


finecube

エンド

根尖方向、側枝・副根管の三次元診断が可能です。

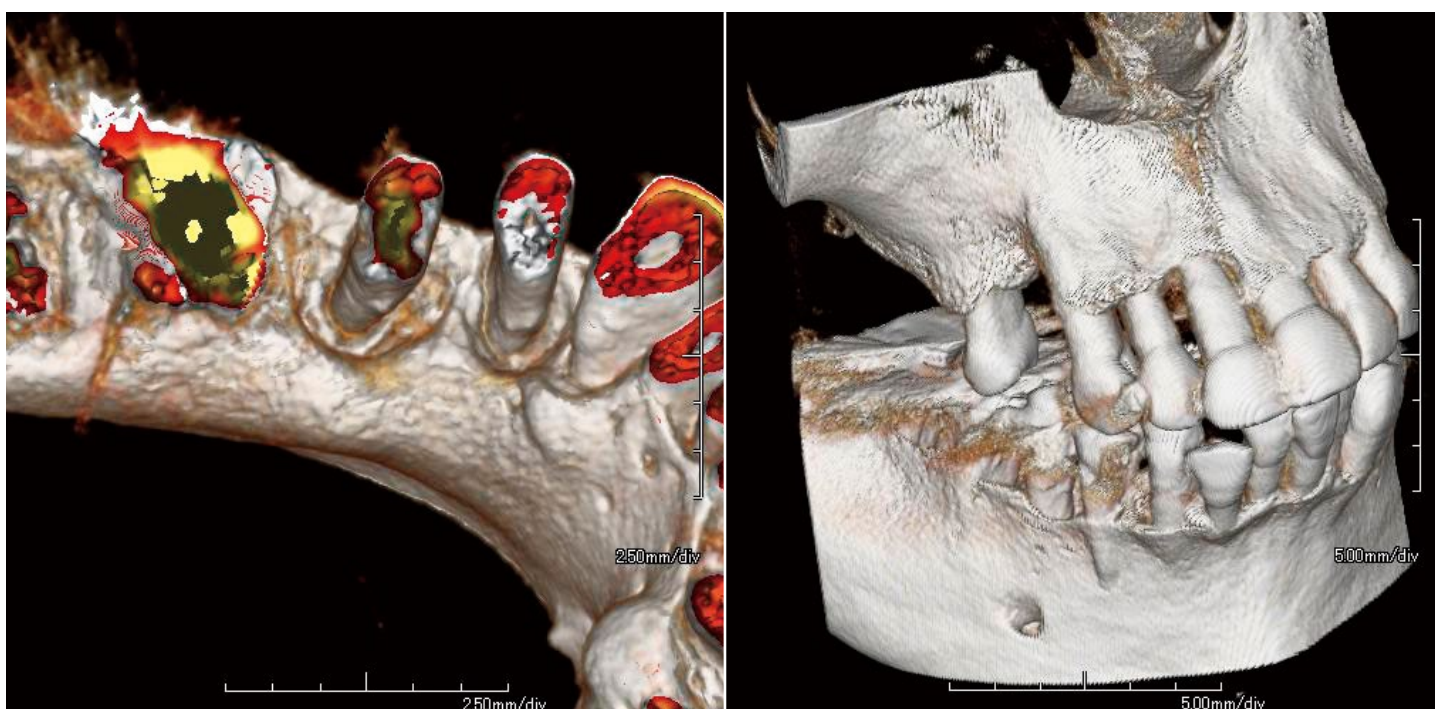
歪みのない高解像度の画像は正確な距離計測が可能。マスク機能により、自由曲線での断面画像はもとより任意の歯牙の3D画像を切り抜いて診断することもできます。



ペリオ

患者説明や歯科衛生士のコンサルテーションなど、幅広くご活用いただけます。

二次元（デンタルパノラマ）では診断できない骨欠損形態が明確に確認できます。3D画像による説明は患者の理解度を飛躍的に深め、モチベーションを高めます。

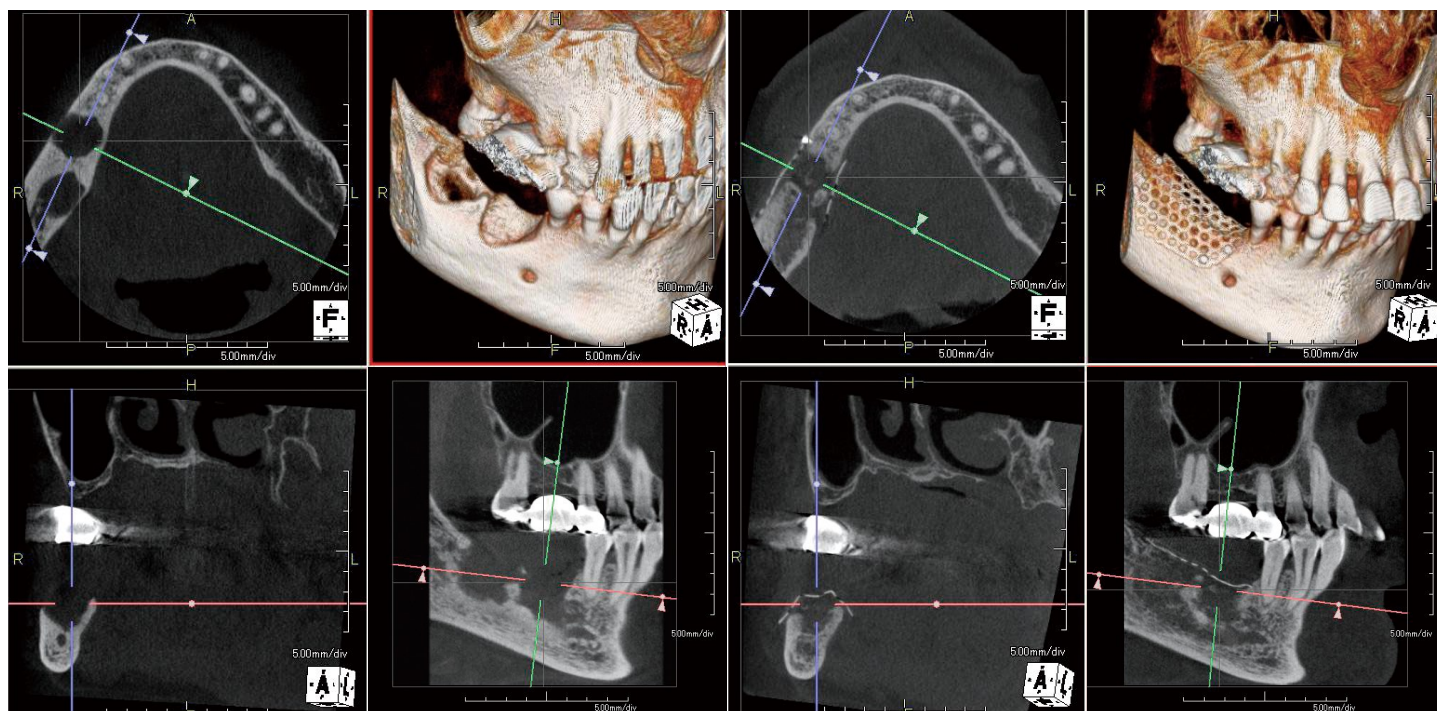


さまざまな歯科治療をCT画像が支援。
より正確な診査・診断が行え、緻密な治療をサポートします。

骨造成

あらゆる方向から骨欠損状況を診断可能です。3D画像による確認と説明も容易です。

チタンメッシュプレートと自家骨移植による骨造成症例です。ファインキューブ撮影による術前診断および術後の確認。

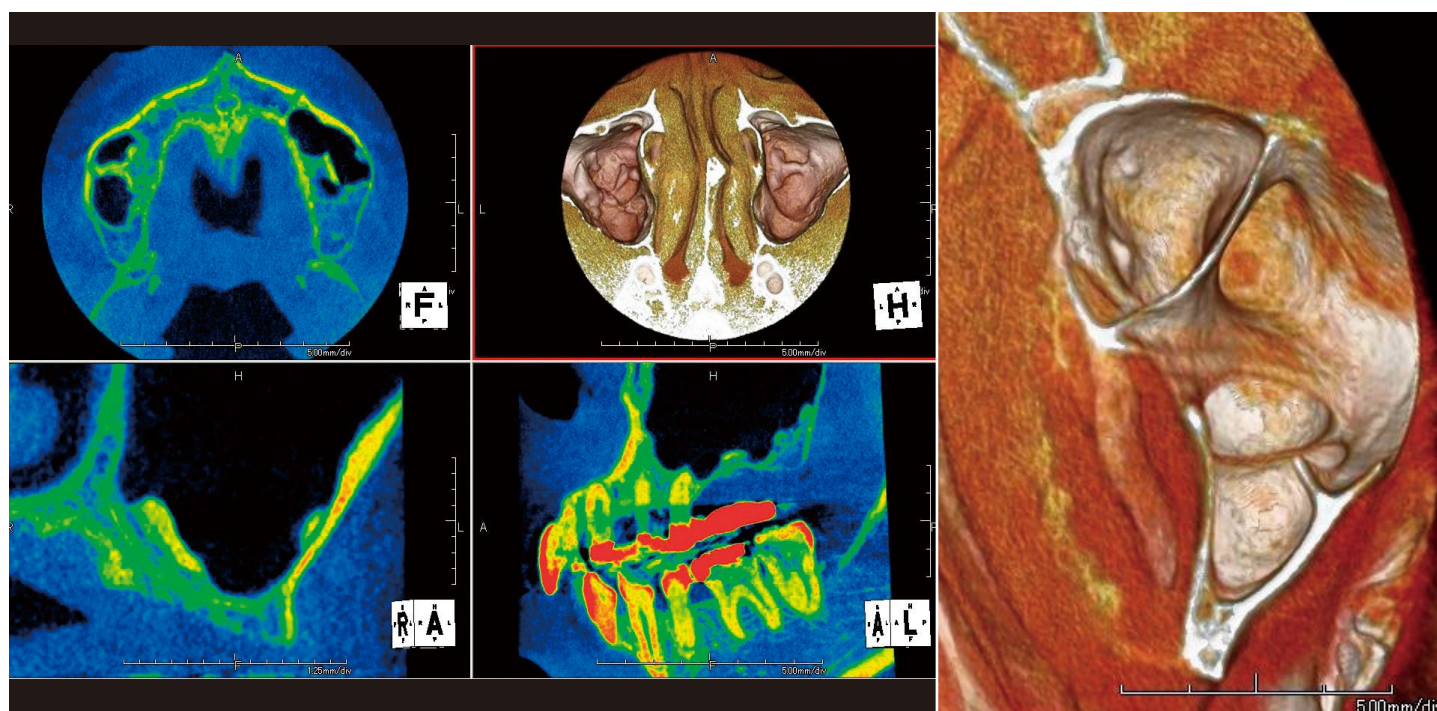


上顎洞

上顎洞内の様子、後上歯槽動脈の走行などが把握できます。

画像左:上顎洞内の石灰化物質。インプラント術前診断の撮影にて。3DおよびMPRによる観察です。

画像右:上顎洞内隔壁の存在を3D画像にて把握。



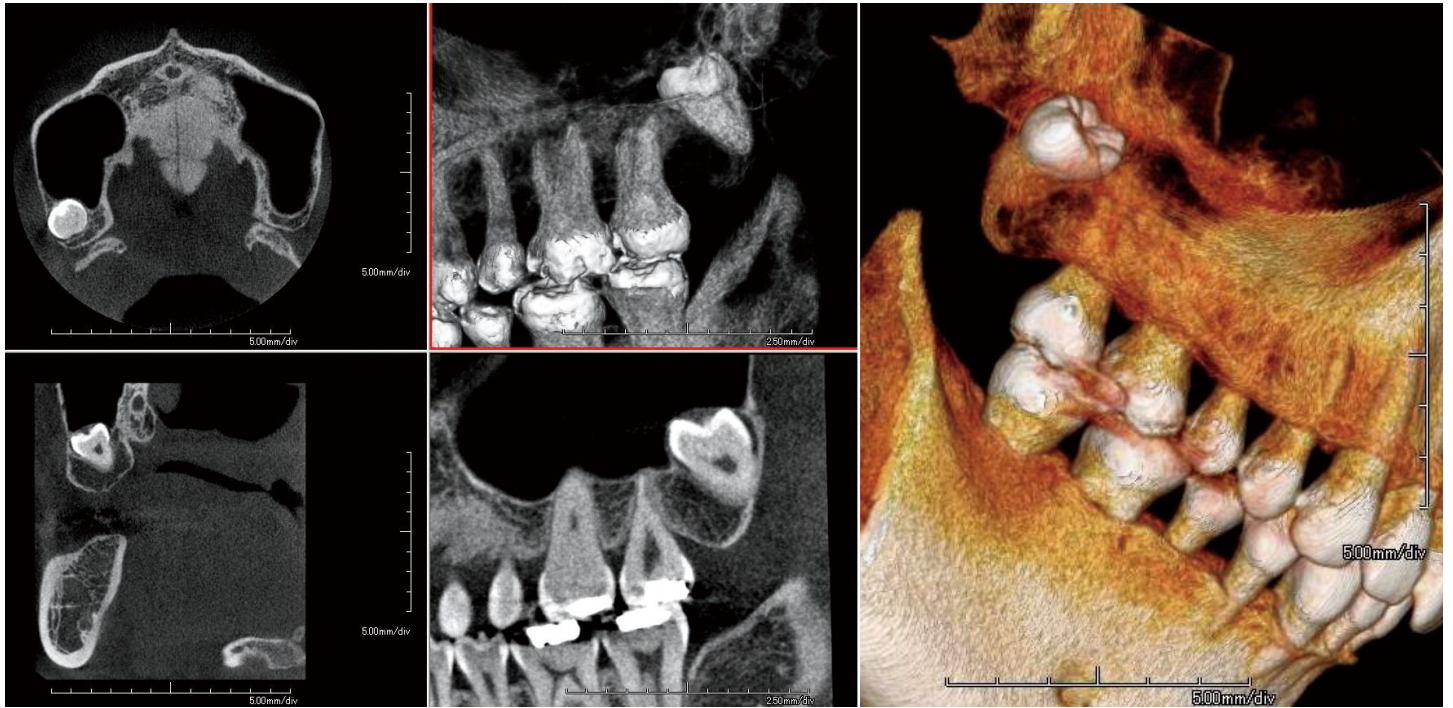


finecube

EXT

事前にイメージできるから、より低侵襲、より短時間で施術が行えます。

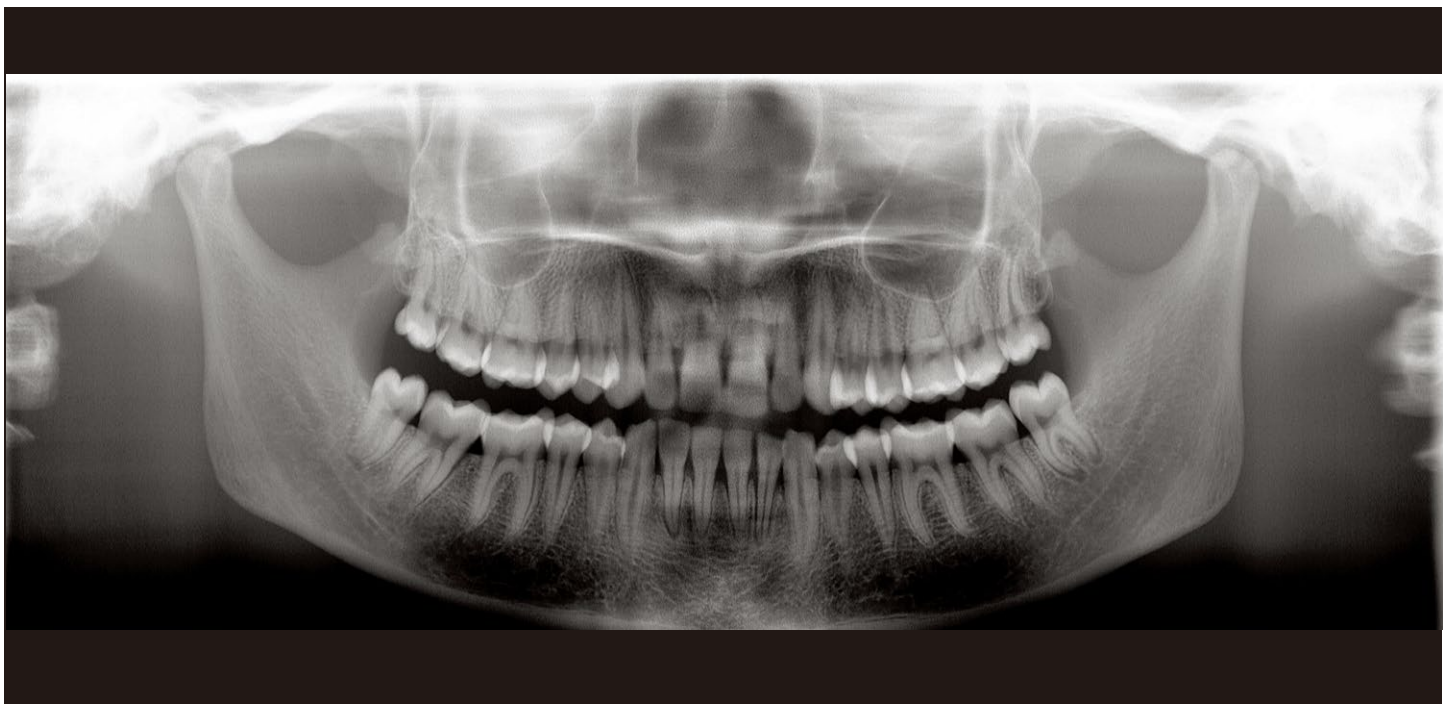
歯冠や歯根の方向などが術前に把握できるため、ヘーベルの掛け方、切開線の入れ方などが術前にイメージできます。



パノラマ画像

パノラマ単独撮影が可能となった、パノラマ撮影モード搭載。

焦点寸法が0.2mmの管球を使用することにより、パノラマ専用機と比べても高画質な画像を得られるようになりました。(当社比)

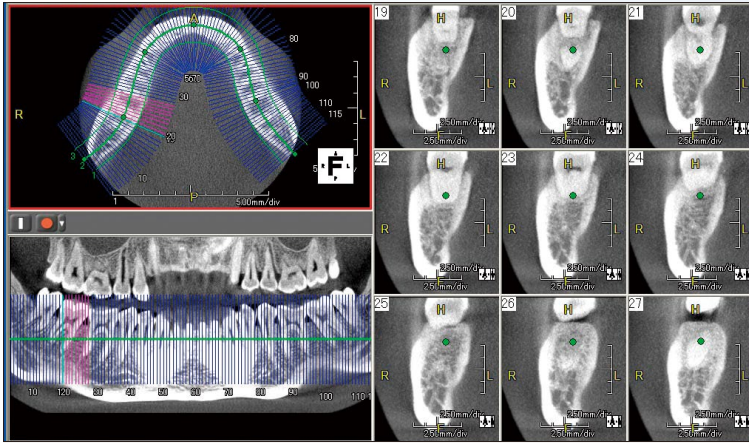


歯科用コーンビームCT「ファインキューブ」で3D画像診断へ。ファイン

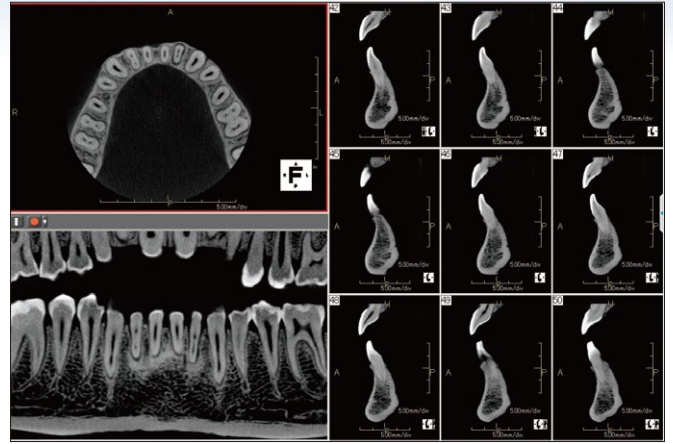
撮影領域を選択可能。

「標準」・「ハイレゾ」2種類の撮影領域（FOV）と、
「標準」・「高精細」「クイック」3種類の撮影モードを選択することができます。

■標準撮影画面



■高解像度撮影画面



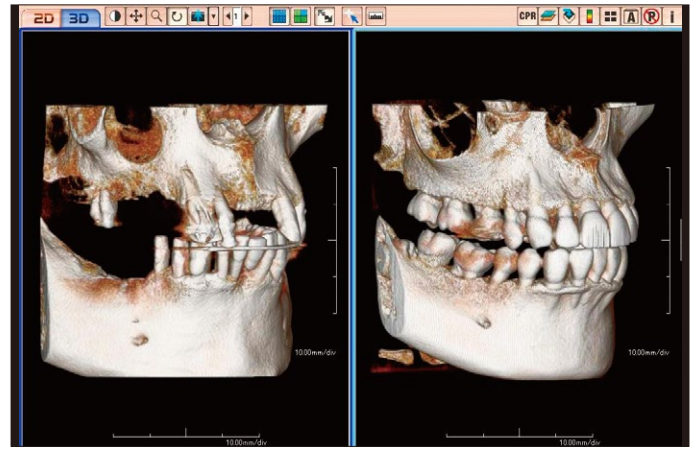
高精細で機能性操作性に優れた3D画像。

高精細な3D画像はマウスのみの操作で自由自在に回転移動、拡大縮小、コントラストおよびカラー調整、軟組織／硬組織の表示切替、カット、距離計測等ができます。診査診断にも患者説明にも圧倒的な威力を発揮します。



複数症例画像のマルチ表示と同期操作が可能。

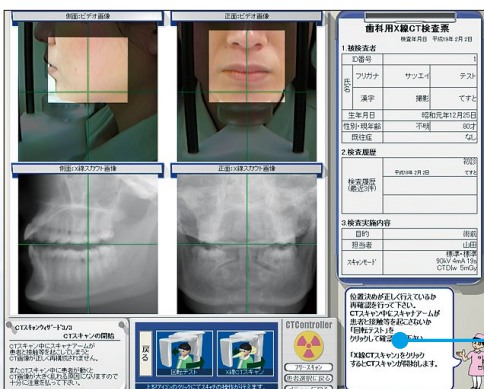
2つ以上（最多で3つ）の症例画像を一つの画面に並べて表示し、同時に操作すること（同期操作）ができます。術前／術後の比較や正常／異常の比較が容易に明確化できます。



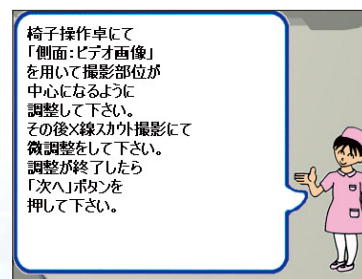
ナビゲーション+ビデオ画像+椅子コントロールボックスによる簡単な位置付システム。

ナビゲーション画面の指示に従うことで操作をシンプルに。ビデオ画像と撮影領域がリンクしているので、患者さん位置をモニターしながら正確な位置付けを行うことができます。

■位置付け画面

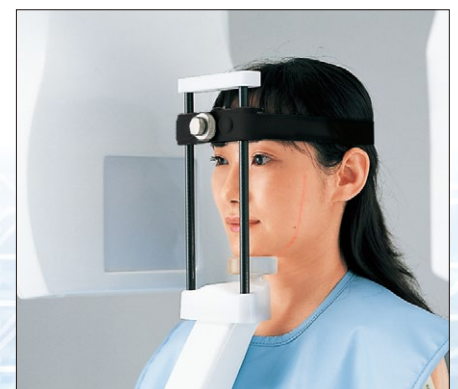


■ナビゲーション機能



フラットパネルディテクターを採用。

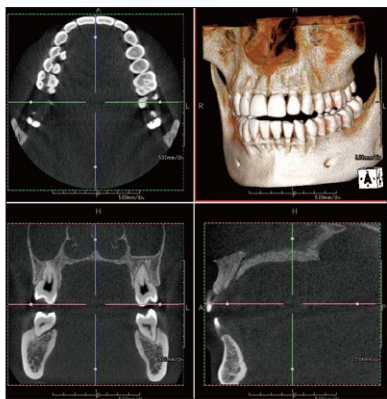
フラットパネルディテクターを採用。撮影範囲は直径81mm×高さ74mmと広視野を確保。上下顎の歯列弓も1ショットで撮影可能で歪みのない画像を得ることができます。



キューブの開発コンセプトは「高精細画像」「高速処理」「省スペース」。

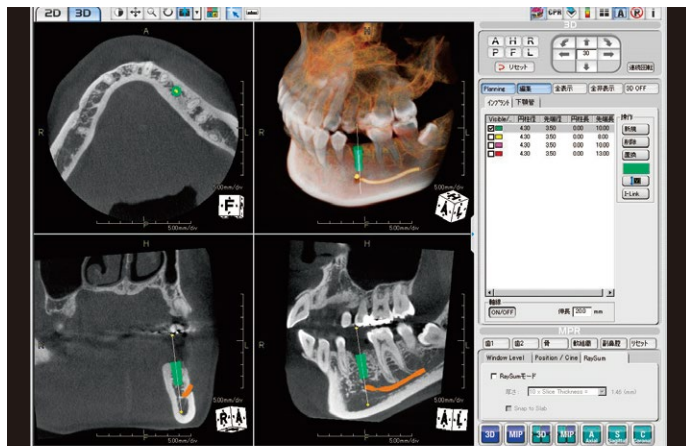
DICOMデータ出力とプレックスビュー。

ファインキューブで撮影した画像データは、簡単にDICOMデータとして出力することができますので、DICOMデータ対応の画像診断ソフトに読み込んで解析することも可能です。また画像診断ソフトをお持ちでない医院から撮影依頼を受けた場合には、DICOMデータ出力と共に簡易閲覧ソフト「プレックスビュー」を添付することもできますので、画像診断ソフトをお持ちでない医院でも画像診断が可能となります。



インプラントプランニング

インプラント体の長さ・直径を入力するだけで簡単に操作でき、埋入位置と方向・深さがより確実に、容易に診断できます。また、患者さんへのインフォームドコンセントにもお役に立ていただけます。



CT⇔パノラマの撮影モード切り替えが可能

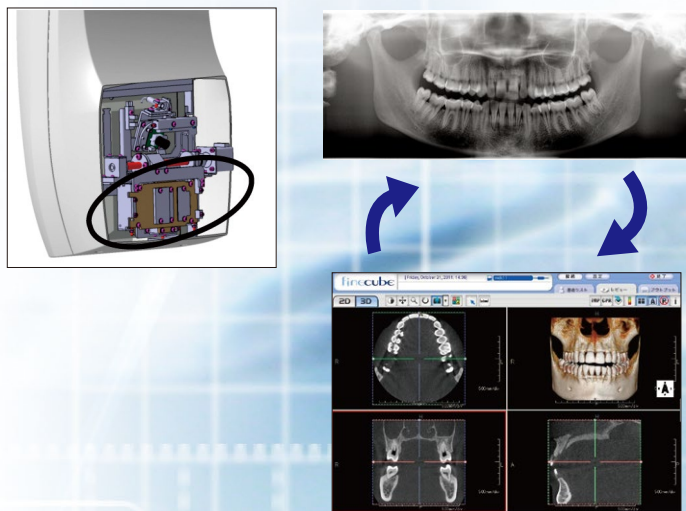
メニュー画面にてCT撮影とパノラマ撮影が選択するだけの簡単操作で、CT撮影もパノラマ撮影も1台で可能。

撮影モードに合わせてナビゲーション機能が表示され、撮影モードが自動的に切り替わります。



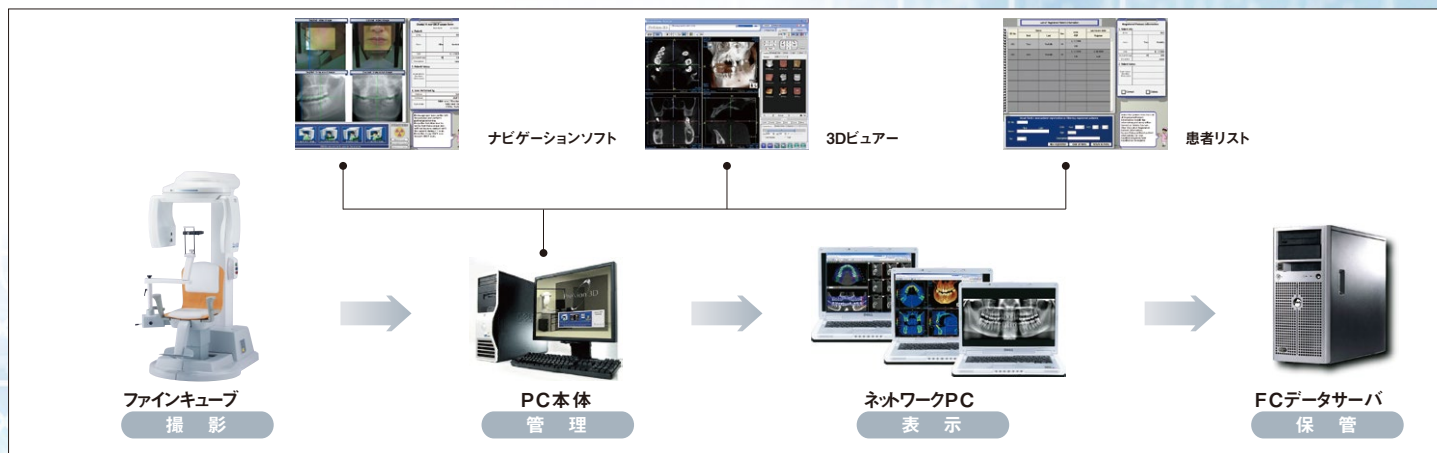
パノラマ単独撮影が可能になりました

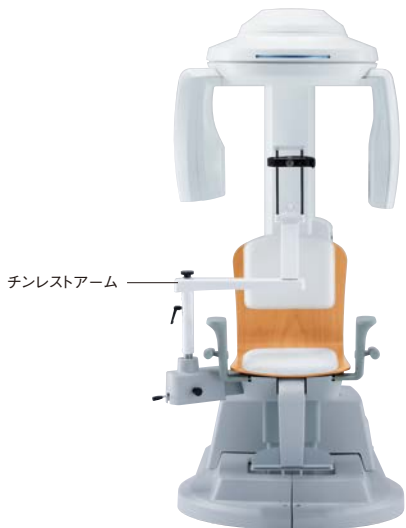
電動コリメーターの採用により、パノラマの単独撮影が可能になり、従来の「CTスキャンによる撮影」に比べ、被曝線量が格段に軽減されます。(当社比)



患者様の口腔内データを最大限有効に活用します。

ファインキューブでは高精細な画像表示とともに大量データの高速表示、長期管理までを考慮し、口腔内データを安全に管理します。





チンレストアーム

※チンレストアームは左右どちらにも設定可能です。

■ファインキューブ V12仕様 医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管 管理医療機器 アーム型X線CT診断装置

X線管焦点	0.2mm×0.2mm	管電圧	90kV	管電流	4.0mA
撮影時間	16.8秒	(標準撮影モード・ハイレゾリューション撮影モード)			
	33.5秒	(高精細撮影モード)			
	8.6秒	(クイック撮影モード)			
	16.2秒	(パノラマ撮影モード)			
FOV	Φ56mm H51mm	(高解像度撮影モード・ハイレゾリューション撮影モード)			
	Φ81mm H74mm	(標準撮影モード)			
画素	CT : 200μm等方/pixel	13bits	マトリクス 616×608		
	パノラマ : 100μm等方/pixel	12bits	マトリクス 72×1216		
SID/SOD	700mm/322mm	(ハイレゾリューション撮影モード)			
	700mm/468mm	(標準撮影モード・高精細撮影モード・クイック撮影モード)			
	700mm/468mm	(パノラマ撮影モード)			

■電气的定格 ○電撃に対する保護の形式:クラスI ○電撃に対する保護の程度:B形機器 ○電圧:100VAC
○相数:1Φ(単相) ○周波数:50Hz/60Hz ○電源入力:1.5kVA

■本体寸法・質量 ○寸法:H1,925mm×W1,170mm×D1,625mm ○質量:390kg

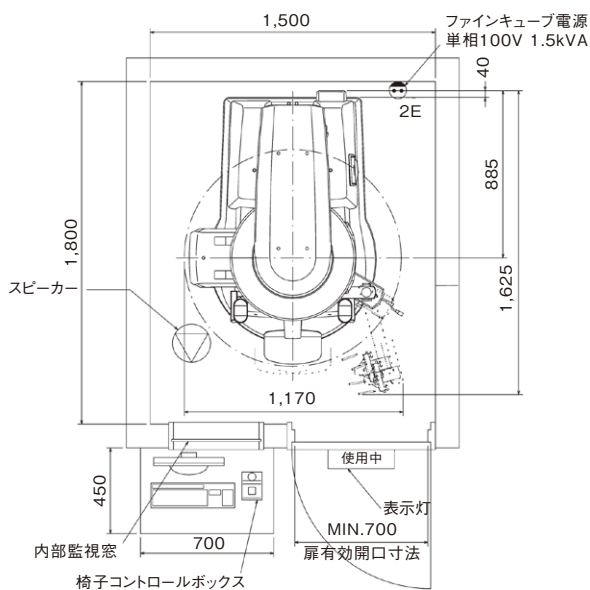
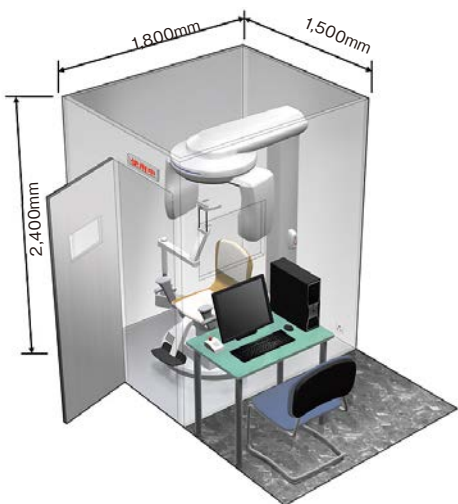
●認証番号 : 218ACBZX00011000 (特管 設管) ●標準価格 : 30,000,000円 (取付費・送料は別途)

パノラマレントゲンサイズの省スペースCT。

必要な設置スペースはパノラマレントゲンに準じており、質量も390kgと軽量です。電源仕様も100V、鉛遮蔽も1.5mm厚でクリアされているので、従来のレントゲン室にそのまま設置できます。

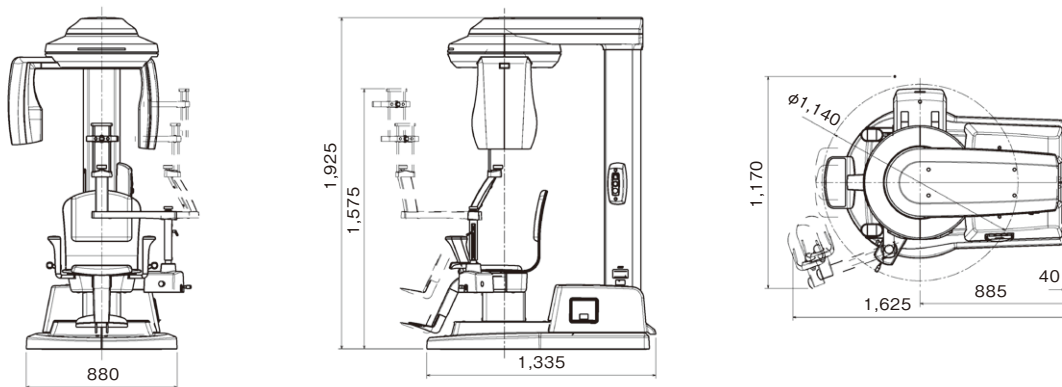
■ファインキューブ基本設置例

S=1/40
単位:mm



■ファインキューブ寸法図

単位:mm



●仕様および外観は製品改良等のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。●価格には消費税は含まれておりません。

禁無断転載

●お問い合わせは下記まで

◎発売元: 株式会社 **ヨシダ** <http://www.yoshida-dental.co.jp>
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9 TEL.03-3845-2931 (器材営業本部 インプラント部)
◎製造販売元: 株式会社吉田製作所 東京都墨田区江東橋1-3-6



2014年2月/PRO/30/@50/再 (01)02747937009932